

S M C 金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain S M C 豊島 健治

4月の金融・マーケット動向

関係強まる銀行と生保

手元に「生保と銀行の(資本)持合い構造」一覧表がある。昨年3月末時点のものであるが、その表にはNA(開示資料では確認できない)という欄がやたら多い。それでも開示されたデータだけで、生保は銀行株式を5兆円以上保有し、劣後貸付を5兆円以上行っている。反対に生保は、銀行から2兆円以上の基金を拠出してもらっている。実態数字はそれをかなり上回るものと思われるが、問題は「資本持合い関係」が更に強まり相互依存度が高まっている所にある。

前期には、大手生保は銀行から4千億円程度の資本を、大手銀行は生保から2.3千億円程度の資本を調達した模様だ。こうして生保はソルベンシーマージンを、銀行は自己資本比率を底上げする。お互い資本を拠出し合う行為をダブルギアリングと呼ぶが、それは「1の資金を2にする」資本水増し行為として嫌われる。最近の銀行・生保の資本増強は、どうもそれに近いもののように思われてならない。

「行内格付け」通知

UFJ銀行が、借入のある取引先企業に実施している独自格付けを企業に開示する方針を打ち出した。銀行は貸出先を通常10~15段階に格付け区分しているが、今までは債務者に開示されていなかった。従来は他銀行との競合等を考慮して開示しなかったものだが、それを開示に踏み切るのは「金利引上げ」を図るためである。

かつての金利変更経緯を無視して臨む金利引上げ交渉は、その多くが難航する。それを「社長の会社はこの格付けだからこれだけコストがかかるんです」と格付けを説得材料に使う。格付け開示動機は不純だが、銀行が金利引上げにそれだけ必死となっている証である。おそらく他の銀行も後に続くだろう。対する社長は「我が社は何故この格付けか」と明確な理由を聞き出し、改革の材料にすべきと思う。

地銀再編・1県2行?

今月、九州の西日本銀行と福岡シティ銀行の経営統合が発表された。その前には(茨城県で)関東銀行とつくば銀行の合併が決まっている。共に地銀と第2地銀の統合であり、県内シェア2、3位連合である点が共通している。

オーバーバンキングの過当競争下、地銀再編の必要性は金融庁も認めるところだが、ペイオフ解禁でようやく現実味を帯びてきた。特に3つ以上の地銀がひしめく地域の場合、そうした動きは今後加速する可能性がある。良く云われる「1県2行体制」は単なる「べき論」で現実的意味はないが、結果的にそれに近づくことはあると思う。

協会、保証余力低下

金融機関への代位弁済が激増している信用保証協会が、債権回収体制の強化を検討していると伝えられた。回収専担者の増員と休日・夜間の債務者訪問がその具体策だが、それだけ保証協会の経営内容が悪化していると見られる。

昨年来、保証協会の新規保証額が大幅に減少している。協会は資金需要が弱いことを理由に挙げているが、保証余力が著しく落ちているのが現実だ。協会保証も助け舟ではなくなっている。

新興企業、銀行離れ

日経新聞社の調査によると、昨年度新興市場(ジャスダック、ナスダックジャパン、東証マザーズ)に上場した企業の24%は銀行借入がゼロだった。年々この比率は上がっているという。これは、新興企業が銀行を見放しているのか、それとも銀行が(担保となる資産が少ない)新興企業に対応できないかのどちらかだが、当たり前だった資金銀行調達が当たり前でなくなりつつあるのは確かなことだ。その意味で、企業対銀行の関係は新たな時代に入ったと考えていい。

解散相次ぐ年金基金

厚生年金基金の解散が相次いでいる。昨年度は59基金、今年度も既に30程度の基金が解散準備を進めているという。この背景には、株式市場低迷に加え超低金利が続き、年金資産の運用利回りが大幅に悪化(一昨年はマイナス9.8%、昨年はマイナス4%見込)し、資産内容が急速に劣化していることがある。

企業年金は、多くは4%程度の利回りを約束している。それが達成できない時、企業は実績利回りと予定利回りの格差を穴埋めする義務を負う。この2年で穴埋めを要する金額が17兆円迄膨らんでいる模様だ。関係者の苦悩は深まるばかりだが、超低金利が続く限り利回り改善は期待薄だ。そして、解散できない年金が解散する年金を羨むという不思議な現象が起っている。解散するにも資金が必要なのは企業の世界だけではない。

Weekly Fax Report

《転載・複製等はこちらへご連絡下さい》

URL: http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/

2002.4.27(第306号)

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

Email: smc_toyo@hi-ho.ne.jp